

しゃぼん玉

No.404
2018ねん
9がつごう

にしのみやしりつとしょかん

「ばあばは、だいじょうぶ」

楠章子／作 いしいつとむ／絵
童心社 E3イシ

いつも「つばさは、だいじょうぶだよ」と言ってくれた、ばあば。今度はぼくが「だいじょうぶだよ」と言っ



※この本の作者、楠章子さんの講演会が北部図書館であります。くわしくは4面をご覧ください。

「おじいちゃんへのプレゼント」

ニコラ・ムーン／ぶん アレックス・アイリフ／え
そのひかる／やく 評論社 E4アイ

おじいちゃんにプレゼントする絵をかくことにしたルーシー。絵の具ではなくて、はぎれ、こえだ、はねなどをつかって作ったわけは？



「おじいちゃんあそびの名人」

多田千尋／著 ひかりのくに 79

おじいちゃんは子どものころどんなあそびをしていたかな。いろんなあそびを教えてもらおう。「おばあちゃんあそびの達人」もあるよ。



おじいちゃん・おばあちゃんの本

9月17日は「敬老の日」。おじいちゃん、おばあちゃんにありがとうをつたえる日です。兵庫県が全国でいちばん早く「としよりの日」を決めたことが、今の「敬老の日」につながったんだって。

「もっと知りたい！お年よりのこと②」（岩崎書店）36より



「ぼくの夏休み革命」

なつやす かくめい
つちもととしえ／作
大庭賢哉／絵
国土社 931 ツチ



おお大けがをしたぼくを助けてくれたおじいちゃんはおみ屋敷に住んでいた。

「もっと知りたい！お年よりのこと①」

としと年を取るってどういうこと？
服部万里子／監修 岩崎書店 36

おとしよりのことを知ってからだを気づかってあげよう。シリーズが5巻まであります。



★えほん★



あたらしい

「さんぼんぼうってなんだろう」

高橋秀雄／作 えがしらみちこ／絵 鈴木出版

E3エカ

いもうとのなつみがねつを出した。「なにかたべたいものないの？」ときくと、「さんぼんぼう」っていったけど、なんのことだろう。バナナかな？アイスかな？どっちもちがう。「さんぼんぼうってなんなのよ」「まあなくて、たねがあるの」。わたしはさがしにいくことにした。



「しぜんのかたちせいかいのかたち

けんちくか 建築家フランク・ロイド・ライトのお話

K. L. ゴーイング／文 ローレン・ストリンガー／絵 千葉茂樹／訳 B L出版 E2シセ

お母さんにもらったつみきで遊び、おじさんの農場を手伝って育った男の子。クモの巣には三角形、ハチの巣には正六角形…自然のなかにかくれているかたちに気づいた。大きくなって建築家になっても、彼はつみきの手触りや重さ、農場をおぼえていた。



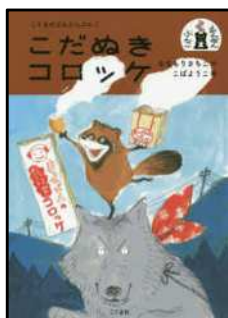
★よみもの★

「こだめきコロッケ」

ななもりさちこ／作 こばようこ／絵 こぐま社

931ナナ

化けるのがにがてなこだめきのポン吉。「まつちやんのころけ」を食べに、オオカミのおじさんと村にでかけることになる。ポン吉が人間に化けて、オオカミが首にロープをむすび、犬のさんぽに見せようというのだが…。



「こだわっていこう」

村上しいこ／作 陣崎草子／絵 学研プラス

931ムラ

ぼくの友達のおうまくんはもの知りで、ときどき「こだわりスイッチ」が入る。ある日、こだわりスイッチの入ったおうまくんを止めようとして、ぼくはケガをしてしまう。お母さんはおうまくんと遊んじゃいけないと言うけれど…。



★しらべもののほん★

「イチからつくるワタの糸と布」

大石尚子／編 杉田比呂美／絵 農山漁村文化協会 58

「綿」ってワタのことだよね？じゃあ「ワタ」ってなんだと思う？動物の毛かな？この本では「ワタ」の歴史から育て方、そしてどうやって糸をつむぎ、布になっていくのかをわかりやすく紹介。糸をつむいだり、布をおることができるよう、必要な道具も手作りできるよ！



「学校プールのヤゴのなぞ」

星輝行／写真・文 少年写真新聞社 486

トンボの幼虫、ヤゴ。池や川のほかに、学校のプールでもたくさんのヤゴが見つかるらしい。でも、水泳の授業前のプールそうじで下水に流されてしまう。ぼくはそんなヤゴを救う活動をして、小学校を訪ね、ヤゴの一年を観察することにした。



本のコーナー



「スサノオ」

飯野和好／文・絵 パイインターナショナル **E1** スサ

この本は有名な「やまたのおろち」という日本の神話。一つの胴に八つの頭、八つの尾を持つ大蛇をスサノ

オという神様が退治するお話。勢いある絵で戦う様子はドキドキワクワク。



「ぼくのなまえはへいたろう」

灰島かり／文 殿内真帆／絵 福音館書店 **E3** トノ

ぼくは「平太郎」。このなまえのせいで、わらわれてきた。おならみたいとか、むかしの人みたいとか。なまえでくろうしてない子にぼくのきもちはわからない。なんでこんななまえにしたの？ おとうさんにきいてみた。むかしの人や、世界の人たちのなまえのつけ方もわかる本。



「ふしぎの花園シスターランド

もうひとつの世界へ」

サラ・シムッカ／作 サク・ヘイナネン／絵 古市真由美／訳 西村書店 **932** シム

アリーサは11才の女の子。ある大雪の日、トンボを追いかけて穴に落ちてしまった。着いたところはふしぎの花園がある「シスターランド」。アリーサはそこで出会った親友メリと一緒にもとの国へ帰るため、シスターランドを支配する女王リリをさがす旅にでた。



「ヨっちゃんのおわむし」

那須正幹／作 石川えりこ／絵 ポプラ社

931 ナス

あおばほいくえんでいちばんよわむしのヨっちゃん。いぬをみただけでこわくてなきだしてしまう。あるあきのひ、おともだちとてんじんやまにどんぐりをひろいにいくのだが、「くまやおばけができるかもしれないよ。」といわれて…。



「こうすればきみも話せる 2

友だちと会話を楽しもう」

鳥谷朝代／監修 岩崎書店 **80**

きみのまわりに話していて楽しい人はいらる？ 話し上手な人は、ただたくさん話しているだけじゃなく、相手の話もよく聞くし、あいづちをうったりもする。「話す力」と「聞く力」の両方を勉強して会話のキャッチボールを楽しもう。



「みちかな樹木のえほん

生きものやくらしとつながる「一本の木の物語」

国土緑化推進機構／編 平田美紗子／絵 ポプラ社 **47**

通学路のとちゅうでいつも見るあの木、なんと言う名前なんだろう？ 木に近づくと…札に名前が書いてある。見かけた木にどんな生きものがやってくるのか、わたしたちの暮らしにどのように役立つているのか、つながりをみちかに感じてみよう。





9月児童向け行事のご案内

中央 (ちゅうおう) 図書館

TEL0798-33-0189

- ★おはなし会★ 5・12・19・26日 (水) 午後3時30分～
- ★0～2歳児のおはなし会★ 21日 (金) 午前11時～ 先着20組 ※当日9時30分より整理券配布
- ★小学生のためのおはなし会★ 16日 (日) 午後2時～
- ★上映会★ 20日 (木) 午後3時30分～ 『トムとジェリー ジェリー街へ行く (全8話)』 (60分)

北部 (ほくぶ) 図書館

TEL0797-61-1706

- ★おはなし会★ 13日 (木) 午前11時～ おおむね0～3歳児
- 2・9・16・23・30日 (日) 午前11時～ 幼児～小学生

鳴尾 (なるお) 図書館

TEL0798-45-5003

- ★おはなし会★ 5・12・19・26日 (水) 午後4時～/8・22日 (土) 午後2時～
- ★0～2歳児のおはなし会★ 4日 (火) 午前11時30分～
- ★おつきみおはなし会★ 15日 (土) 午前11時～ 申込不要
- ★上映会★ 20日 (木) 午後3時30分～ 『動物の赤ちゃん ドキドキ編』 (58分)

北口 (きたぐち) 図書館

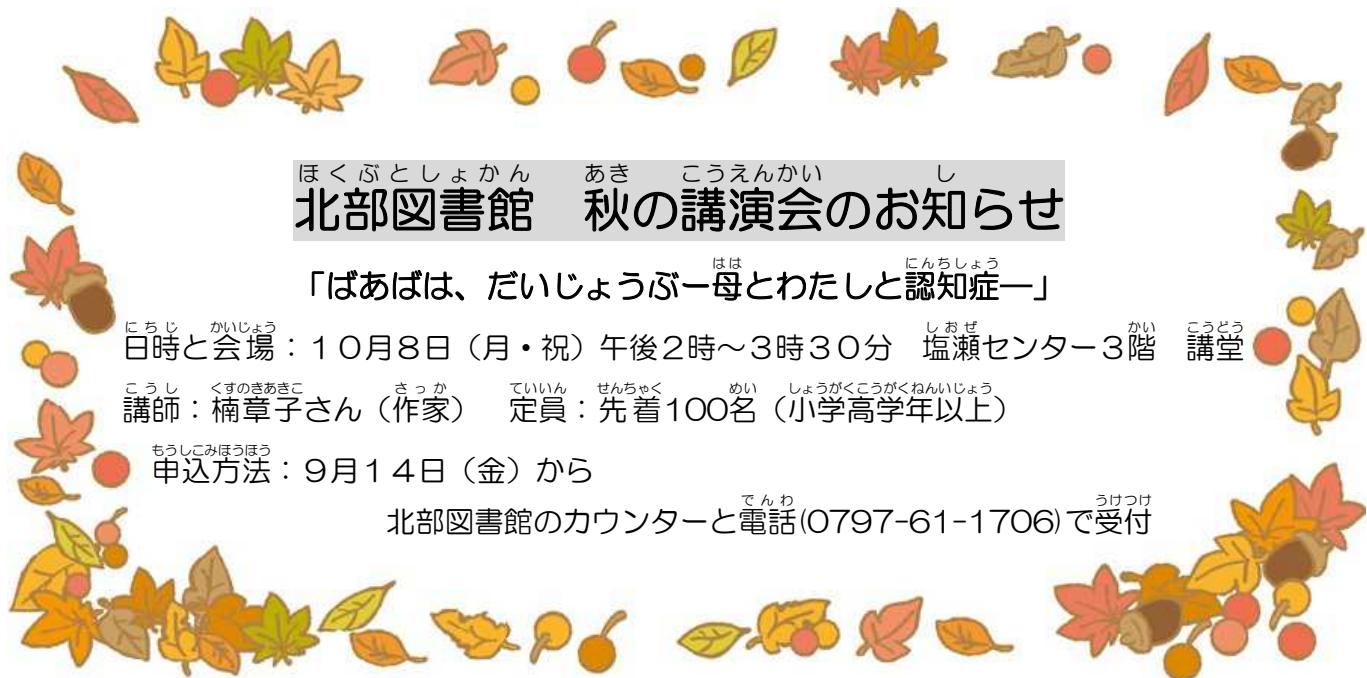
TEL0798-69-3151

- ★おはなし会★ 火・水・木・金・日曜日：午前11時～/午後3時～
- 土曜日：午後3時～
- ★0～2歳児のおはなし会★ 13日 (木) 午前11時～ AVホール
- 午前11時30分～ おはなしのへや
- ★上映会★ 12日 (水) 午後3時30分～ 『がんばれスイミー』 (26分)

山口 (やまぐち) 分室

TEL078-904-3961

- ★おはなし会★ 13日 (木) 午後3時30分



北部図書館 秋の講演会のお知らせ

「ばあばは、だいじょうぶー母とわたしと認知症ー」

日時と会場：10月8日 (月・祝) 午後2時～3時30分 塩瀬センター3階 講堂

講師：楠草子さん (作家) 定員：先着100名 (小学高学年以上)

申込方法：9月14日 (金) から

北部図書館のカウンターと電話(0797-61-1706)で受付